

Title	日本田制史及び其の著者横山由清(二)
Sub Title	
Author	加藤, 繁(Kato, Shigeshi)
Publisher	三田史学会
Publication year	1927
Jtitle	史学 Vol.6, No.1 (1927. 3) ,p.90- 90
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19270300-0090

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

日本田制史及び其の著者横山由清 (二)

加藤 繁

田制篇は、上古から江戸時代に至るまでを四期に分ち、幾多の項目を列擧し、各項目毎に、先づ著書考究の結果を簡明に述べ、次にその考究の資格となつた古記録、古文書を排列したものであつて、これから推して、戸籍篇其他の諸篇の編纂方法をもうかゞふ事が出来る。舊典類纂の稿本は先生の他の稿本及び手澤本百數十部と共に、大正四年東京帝國大學圖書館に寄託されたが、十二年の地震火事の爲に烏有に歸したのは遺憾の至りである。

舊典類纂の外、先生の著書としては既刊のものに、尙古圖録、活語自他便覽、魯敏孫漂流記等がある。魯敏孫漂流記は安政年間の出版と傳へられるが、恐らくは蘭書から翻譯されたものであらう。未刊の主要なるものに食貨志略、田制私考がある。尙明治十年以後東京大學から發行された、殆ど日本最初の學術雜誌ともいふべき「學藝志林」には、先生の論文、刑法志略、日本貴族沿革論、日本上古賣買起原及貨幣度量權衡考、日本人種論並良賤の別、古代陶器考、本朝古來戸口考、婚禮通考等が載つてゐるが、これは稀觀の書で帝國圖書館のやうな處へ行かなければ讀む事は出来ない。過般上梓された「日本田制史」は右に述べた食貨志略、田制私考を收め、且つ附録として「學藝志林」所載の論文七編を添へたものである。今日まで傳はり得た先生の業績の主なるものは、この「日本田制史」と舊典類纂の一部なる「田制篇」との二つに盡きるといつても過言ではあるまい。(二〇八頁に續く)